

科目名 (英)	インフォメーションテクノロジー (Information Technology)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	小野寺 幸子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	株式会社日立製作所で営業・インストラクターを経て、東北六県で企業、役所、自衛隊、専門学校、短大ほかでパソコンの研修を担当						
授業の 学習内容	社会に通用する仕事のツールとしてコンピュータは必須です。 Word、Excelの基本操作はもちろん、PowerPointでの発表の場も業種問わず増えています。スマホやタブレットの慣れからキーボードが使えない人がいる現状の中、パソコンの基礎は一番大事です。 簡単な案内文書からチラシやポスター作りへの応用、またExcelの表を自在にグラフ化など操作、編集できるようにする。 Power Pointでは、スライドを思い通りに作成し、様々な場面で自分を表現できるように力をつけていく。 授業を通じて3つのアプリケーションの最低限の基礎をしっかりと使えるようになってほしい。						
到達目標	10分間タイピング 400字以上入力できる。 Wordで仕事で通用するように効果的な文書が30分程度で作成できる。 Excelを使用して表からグラフ化まで作成できる。 Power Pointを使用して明確に自分の伝えたいことをスライドに表現ができようにする。						
評価方法と 基準	1) 定期試験: Word50% (社外文書が60分以内で作成できるか評価) PowerPoint30% (与えられたテーマを盛り込みスライド5枚で表現できるか評価) 2) 態度・提出物: 20% (授業内での課題の取り組みで評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/12	講義・演習・実技	PCの基本操作とアプリの起動ができる タイピング、ダウンロード確認	
2	4/19	講義・演習・実技	第1章 文書の効率の良い編集をすることができる (オートフォーマット、書式設定)	
3	4/26	講義・演習・実技	第2章 便利な機能の使い方、基本文書の 作成が作成できる	第2章復習問題
4	5/10	講義・演習・実技	第3章 オブジェクト(画像、図形)を活用し た文書作成ができる	第3章復習問題
5	5/24	講義・演習・実技	第5章 簡単な表が作成できる	プリント課題提出
6	5/31	講義・演習・実技	第1章 Excel基本操作、入力、範囲選択、 保存ができる	
7	6/14	講義・演習・実技	第2章 数式と基本の関数、書式設定がで きる	第3章復習問題
8	6/21	講義・演習・実技	第4章 グラフ機能(棒グラフと円グラフ)で 表現できる	第4章復習問題
9	6/28	講義・演習・実技	Excelのまとめ 課題作成	課題提出
10	7/5	講義・演習・実技	PowerPointの基本操作、作成、編集がで きる	プリント演習
11	7/12	講義・演習・実技	オブジェクトの挿入、アニメーション、画面 切り替えを使いこなすことができる	
12	7/18	講義・演習・実技	テーマ課題作成実習	PowerPoint演習問題課題①
13	7/19	講義・演習・実技	前期まとめ・teamsへアップロード確認	
14	8/23	試験	後期本試験 Wordでの文書作成テスト	
15	8/30	講義・演習・実技	テーマ課題作成・teams提出	10分タイピングテスト
16	/			
準備学習 時間外学習			演習問題等で操作を復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
株式会社滋慶出版 COMPUTER BASIC WORD2019、Excel2019				

科目名 (英)	キャリアデザイン ()	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂本訓勸
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年 曜日・時限
教員の略歴	専門学校卒業後、実験動物飼育管理、移動動物園、2005年TCA入職、2008年SCA移動						
授業の学習内容	学校での校内講義、および校外講義を実施し、職業人教育を通し、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。 また個人での取り組みや、グループでの取り組みを行い、主体性を身につける。						
到達目標	個人及びグループ内でお客様や展示を考慮し、ニーズに合わせた企画、発表ができる。 企業の取り組みについて、理解する。						
評価方法と基準	レポート50%、取り組み状況・課題提出20%、出席30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義・演習	○サポートアンケート・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・挨拶、時間管理、整理整頓・サポートアンケート	授業内容の予習・復習
2	／	講義・演習	○ITリテラシーテスト・傾聴・挨拶、時間管理、整理整頓・教務自己紹介・ITリテラシーテスト	授業内容の予習・復習
3	／	講義・演習	○映像鑑賞・傾聴・挨拶、時間管理、整理整頓・SOSを出すことについて・植松努氏動画(TED)	授業内容の予習・復習
4	／	講義・演習	○ネットリテラシー・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・ネットリテラシーといじめ	授業内容の予習・復習
5	／	講義・演習	○自己紹介・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・自己紹介	授業内容の予習・復習
6	／	講義・演習	○グループで協力するということ・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・動画鑑賞	授業内容の予習・復習
7	／	講義・演習	学祭準備	授業内容の予習・復習
8	／	講義・演習	○グループワークについて・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・グループワークのやり方について	授業内容の予習・復習
9	／	講義・演習	○グループワーク実践・グループワーク実践	授業内容の予習・復習
10	／	講義・演習	○独自アンケート・独自アンケート	授業内容の予習・復習
11	／	講義・演習	○夏休み前HR ・出席率の確認 ・単位についての説明 ・生活リズムを崩さないように ・この夏にしかできないことをしてみる	授業内容の予習・復習
12	／	講義・演習	○グループワーク・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・グループワーク	授業内容の予習・復習
13	／	講義・演習	○映像鑑賞・動画を見て話し合う	授業内容の予習・復習
14	／	講義・演習	○映像鑑賞・動画を見て話し合う	授業内容の予習・復習
15	／	講義・演習	○人との関わりについて	授業内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	アニマルヒストリー・アニマルベーシック ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年次	担当教員	高山清次
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトフリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了(獣医学博士)						
授業の学習 内容	<アニマルベーシック>動物に関する勉強をする場合の生物学的基礎知識を理解することを目的としている。 <アニマルヒストリー>動物に関する歴史を学び、現代社会において、いかに動物との関係が必要であるかについて理解することを目的とする。						
到達目標	<アニマルベーシック>この科目を受講した学生が、基礎生物学の知識を身につけることにより、動物業界で活躍する人材になることを目標としている。 <アニマルヒストリー>この科目を受講した学生が、広い視野と柔軟な考え方をもち、「人と動物のより良い関係」を築くことができる業界人になることを目標としている。						
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	光合成・食物連鎖、血液の役割・成分・生成、消毒・滅菌を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	ズーノーシス、濃度計算と希釈法、バイタルサイン、生体防御システムを説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	エイズと免疫、アレルギーと免疫、ワクチンと免疫、外分泌と内分泌、代謝を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	五大栄養素、遺伝、繁殖、イヌとネコの交配を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	DNA・遺伝子・ゲノム、体細胞クローン動物、外来種、絶滅危惧種を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	温暖化、酸性雨、オゾンホール、エコロジー関連の国際条約を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
8	/	講義	動物の進化とゲノムDNAの進化を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	イエイヌの歴史、人間と家畜の歴史、動物の仕事に携わる基としての倫理を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	ペットビジネスの種類を説明できる。環境を守る観察と観光について知識を深める。	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	動物介在療法(AAT)と動物介在活動(AAA)、動物が人に与える効果について、セラピーに向く動物の育成、ペットロスを説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	牧羊犬、警察犬、救助犬身体障害者補助犬法、盲導犬、介助犬、聴導犬を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	BSE問題、鳥インフルエンザ、日本の食料自給率、動物愛護問題を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
16	/			
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
「ECO業界で役立つ基礎生物 株式会社滋慶出版」「動物年表で知るアニマルヒストリー 株式会社滋慶出版」				

科目名 (英)	動物の健康管理 (Health Management of Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	長嶺 幸介
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	競走馬牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究所副理事						
授業の学習内容	身近な哺乳類について分類や品種、習性や体の特徴などを知ることで正常な状態なのかを知り適正飼育ができるように学ぶ またその動物の病気や飼育環境についても学び飼育に生かす						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 動物について学び適正飼育ができるようになる 動物たちについて理解しようとする、努力ができる 正常を知って異常に早く気づき、適切に報告や対応、検証ができるようになる 						
評価方法と基準	授業内評価: 40% 定期試験: 60%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	/	講義	飼養管理に対する責任について理解する		ノート整理とまとめ
2	/	"	モルモットについて理解できる		"
3	/	"	モルモットの管理、デグーについて理解できる		"
4	/	"	デグーの管理、チンチラについて理解できる		"
5	/	"	チンチラの管理、ウサギについて理解できる		"
6	/	"	ウサギの管理、リス科動物について理解できる		"
7	/	"	プレーリードックとジリスについて理解できる		"
8	/	"	プレーリードックとジリスの管理について理解できる		"
9	/	"	シマリスについて理解し管理できる		"
10	/	"	ハムスターについて理解し管理できる		"
11	/	"	ハリネズミについて理解し管理できる		"
12	/	"	フェレットについて理解し管理できる		"
13	/	"	フクロモモンガについて理解し管理できる		"
14	/	"	テスト		"
15	/	"	まとめ		"
16	/				
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>					

科目名 (英)	公衆衛生学 I		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	1年次	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期・後期・通年・集中等
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了(獣医学博士)、ブルークロス動物病院院長							
授業の学習内容	疾病や健康増進のしくみを学び、理解し明確な知識を持って、動物関係の仕事をする時はもちろんのこと、日常生活においても、この知識を役立てる。							
到達目標	この科目を受講した学生が、動物飼育の仕事に携わる時、公衆衛生の知識を持って、行動できることを目標とする。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	公衆衛生の概要を把握する。	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	動物のよい飼育環境を理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	①環境衛生について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	②環境衛生について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	疾病の定義について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	防疫について、実践できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義	①消毒のしくみについて理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	②消毒のしくみについて理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	①病原体について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	②病原体について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	ワクチンの仕組みについて述べるができる。	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	①ズーノーシスを理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	②ズーノーシスの予防を実践することができる。	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
学校の図書室にある公衆衛生関係の本やインターネットを利用する。				

科目名 (英)	動物の体のしくみ (Anatomy and Physiology of Animals)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石田義成
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	農学博士、環境省(財)環境科学総合研究所にて高濃度のCO2および農業が生物に及ぼす影響について研究。海外での環境保全・野生動物保護活動を行う(アルゼンチン国立プラタ大学にてラプラタ川の生物調査、カンボジアのメコン川およびボルネオのキナバタンガン川に生息するカワイルカの調査と保護活動)。						
授業の学習内容	動物園など動物飼育の仕事において、専門知識や技術をもつ人材を養成するだけでなく、根底にある動物達の解剖学的・生理学的要因を学ぶ。動物の体のしくみについての基礎的知識を習得し、これから実施していく動物園などでの業界研修のときに必要とする知識を習得することを目的とする						
到達目標	受講者は、この授業を履修することによって、動物を仕事で扱う際に何か問題が起きたとき、その動物がなぜそのようになっているのか？ その問題の根底にある原因を考えられるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	試験40%、出席60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	【骨格系1】 骨格の構造と機能を理解する。	
2	/	講義	【骨格系2】 Caイオンと骨の関係を理解する。	
3		講義	【骨格系3】 動物たちの行動と骨格のしくみの関係を理解する。	
4	/	講義	【循環器系1】 心臓構造と血液循環について理解する。	
5	/	講義	【循環器系2】 循環系の検査方法(心拍数・血圧・心電図)について理解する。	
6	/	講義	【中枢神経系】 脳の役割と検査方法(脳波)について理解する。	
7	/	講義	【視覚1】 眼の構造と機能について理解する。	
8	/	講義	【視覚2】 色覚のしくみについて理解する。	
9	/	講義	【視覚3】 動物たちの行動と色覚との関係を理解する。	
10	/	講義	【視覚4】 眼以外の視覚(松果体・赤外線感知)	
11	/	講義	【聴覚1】 動物の聴覚のしくみを理解する。	
12	/	講義	【聴覚2】 動物のエコーロケーションのしくみを理解する。	
13	/	講義	【嗅覚】 動物の聴覚のしくみを理解する。	
14	/	講義	【味覚】 動物の味覚のしくみを理解する。	
15	/	講義	【総括授業】総括授業を行う。	レポート課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	生物分類技能検定対策講座 I ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	浅岡
		授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻						
教員の略歴	環境系NPO法人で耕作放棄地の利活用、環境再生活動、自然教育活動およびその指導に携わる						
授業の学習内 容	生物の分類、形態、生態について学び、理解を深める。 生物(一般)について学び、理解を深める。 生物の実物とその種名について実践を通して学び、理解を深める。						
到達目標	生物分類技能検定試験3級に合格できる知識を習得できる。 動物の「種」をきちんと認識できる。 植物の「種」をきちんと認識できる。 生物多様性について議論することができる。						
評価方法と基準	筆記試験 (100段階で採点)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/11	講義	生物分類技能検定の必要性について説明できる	プリント
2	4/18	講義	検定試験の傾向について説明できる	プリント
3	4/25	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
4	5/9	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
5	5/16	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
6	5/23	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
7	5/30	講義	模擬試験	これまでに学んだ内容を復習しておく
8	6/13	講義	模擬試験で間違った内容を再学習し、正答を解説できる	模擬試験で間違った内容について復習をする
9	6/20	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
10	6/27	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
11	7/4	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
12	7/11	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
13	7/18	演習	生物実物を観察し適切な種名を回答できる	プリント
14	8/22	試験	筆記試験	これまでに学んだ内容を復習しておく
15	8/29	講義	ウイークポイントを克服できる	筆記試験で間違った内容について復習をする
16	/			
準備学習 時間外学習			授業内で使用するプリントのノートへの転記がよい。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
改訂版 生物分類技能検定3級4級 解説集				

科目名 (英)	経営学 I ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	この授業シラバスでは、学生たちがさまざまな領域での知識とスキルを習得し、昆虫ショップ経営において成功するための準備を行います。実践的な演習を重視しながら、現実のビジネス環境に即した課題に取り組むことで、より実践力のある経営者やマネージャーの育成を目指しています。						
到達目標	経営学の授業は、学生たちが授業を通じて成長し、将来の昆虫ショップ経営者やリーダーとして成功するための基盤を築くことを目指しています。さまざまなテーマにわたる実践的な演習とリアルなビジネスシミュレーションを通じて、学生たちが実際のビジネス環境に対応するスキルを身につけることができます。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	経営学の基礎と昆虫ショップの概要	講義内容の予習・復習
2	/	講義	経営戦略と昆虫ショップの位置づけ	講義内容の予習・復習
3	/	講義	マーケティングとブランディング	講義内容の予習・復習
4	/	講義	顧客サービスと昆虫ショップ	講義内容の予習・復習
5	/	講義	人材管理と労務管理	演習内容の予習・復習
6	/	講義	昆虫ショップの経営財務	講義内容の予習・復習
7	/	講義	昆虫ショップの在庫管理	講義内容の予習・復習
8	/	講義	昆虫の知識と販売促進	演習内容の予習・復習
9	/	講義	昆虫ショップの展示とディスプレイ	演習内容の予習・復習
10	/	講義	昆虫ショップの実技実習:顧客対応と販売	演習内容の予習・復習
11	/	講義	昆虫ショップの宣伝と広告	演習内容の予習・復習
12	/	講義	昆虫ショップのリピーター戦略	演習内容の予習・復習
13	/	講義	昆虫ショップの事業拡大とフランチャイズ	演習内容の予習・復習
14	/	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	/	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	POPデザイン		必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3学年	担当教員	渡辺尋志
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー-昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	金、1-2 通年
教員の略歴	日本美術家連盟会員、福島県在京美術家協会会員、新制作協会会員							
授業の学習内容	①宣伝とは重要なコミュニケーションツールであることの理解。 ②印刷物(DM, フライヤー)のデータ作り～入稿までを理解する。 ③パソコンの授業でのテキスト、表計算とは違った方向からのコンピューターの使い方 ※人に物事を伝えるためのひとつの手段としてPOPデザインがあり、現代社会ではコンピューターがなくてはならないひとつのツールになっている。使い方次第でいままでの自分を大きく変えることができる可能性があることを知って欲しい。							
到達目標	①パソコンでDM, フライヤーなどの印刷物データを作ることが出来る。 ②紙媒体のみならず画面での構図を人間の目の持つ特性に合わせて考える。 ③時代に合った色や内容で画面構成が出来る							
評価方法及び基準	1)適切な授業参加状況(遅刻、欠席無し)40% 2)課題提出状況 40% 3)作品評価 20% ※作品評価に関しては巧さよりも、仕上がりの状態(丁寧さ)と完成度(意識)の高さを基準とします。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義と演習	POPデザイン理解する POPを手描きで作ってみるポスカ、マッキーなどのフェルトペンを使える	各自PCの用意(全講義)
2	4月19日	講義と演習	名刺のデザインが出来る	世の中にあふれる名刺を調べてみる 実際に自分の名刺をデザインしてみる
3	4月26日	講義と演習	「SALE」の広告を作れる。※例題を出題 広告に必要な基本の2～3色の要素を理解し 使える。	モノを売るための宣伝について考える 自分が関わるお店のセール期間の広告を 作ってみる
4	5月10日	講義と演習	訴求ポイントの強調が理解できる。 文字(フォント)と大きさについて理解できる。 キャッチコピーに合わせたフォントを使える。	見る人に一番訴えたいことを伝えるためには どんなデザインが必要か考える。
5	5月17日	講義と演習	自分で撮影した写真を使うことが出来る 自分で描いたイラストを使うことが出来る	PCで画像を取り扱う方法と注意点を調べて 制作に実践する。
6	5月24日	講義と演習	自分を売り込むポスターを考えられる。 「自分のポスター」を作ってみる。自身をどの ように表現するか考える。A4サイズ	色、訴求ポイント、キャッチコピー、写真やイラ スト、手描き、様々な要因を考えて作る
7	5月31日	講義と演習	現存する動物園のイベント宣伝ポスターを 作ってみる。現在存在する動物園でイベン トを開催する時のポスター制作	色、訴求ポイント、キャッチコピー、写真やイラ スト、手描き、様々な要因を考えて作る
8	6月21日	講義と演習	現存する水族館のイベント宣伝ポスターを 作ってみる。現在存在する動物園でイベン トを開催する時のポスター制作	色、訴求ポイント、キャッチコピー、写真やイラ スト、手描き、様々な要因を考えて作る
9	6月28日	講義と演習	架空の動物園または水族館が完成してオー プンの宣伝をするための紙媒体作成。 ・ポスター ・フライヤー ・園内map ・入場券 全体	色、訴求ポイント、キャッチコピー、写真やイラ スト、手描き、様々な要因を考えて作る
10	7月5日	講義と演習	がまとまったデザインになるよう考えること。	色、訴求ポイント、キャッチコピー、写真やイラ スト、手描き、様々な要因を考えて作る
11	7月12日	講義と演習		色、訴求ポイント、キャッチコピー、写真やイラ スト、手描き、様々な要因を考えて作る
12	7月19日	講義と演習		修了しなかった場合は夏季休暇中の課題と する。
13	8月23日	講義と演習	出品先未定ではあるが実際に公募してみる。 実際のポスター、フライヤーの公募展に出品 する。2週で作品をデザインすることが出来 る。	公募展[コンペティション]への応募を勉強す る。積極的に作品を制作して出品する。
14	8月30日	講義と演習		
15	9月6日	講義と演習	振り返り	PCを使っでのデザインは今後ますます身近 になることを感じて貰い、スキルを高めたい。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	昆虫学 I (Principles of Entomology)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	昆虫に関する分類学、生理学、解剖学、歴史学などの幅広い分野の学問の基礎を学ぶ。さらに昆虫ブリーダーとして、それぞれが飼育・販売業界でどのような関連性があるか、活用可能であるかをケーススタディ等を用いて理解する。						
到達目標	昆虫に関する幅広い分野の学問の重要性を理解し、昆虫ブリーダーとしてそれらの知識を活用する事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	学科説明	授業内容の予習と復習
2	/	講義	分類学①昆虫における分類学の基礎を理解することができる。	授業内容の予習と復習
3	/	講義	分類学②記載文を理解することができる。	授業内容の予習と復習
4	/	講義	分類学③記載文を理解することができる。	授業内容の予習と復習
5	/	講義	アカデミックソースの活用方法①アカデミックライティングの基礎を理解すること	授業内容の予習と復習
6	/	講義	アカデミックソースの活用方法②アカデミックライティングの基礎を理解すること	授業内容の予習と復習
7	/	講義	甲虫学基礎。体の仕組みについて理解することができる。	授業内容の予習と復習
8	/	講義	昆虫学と倫理について理解することができる。	授業内容の予習と復習
9	/	講義	虫供養	授業内容の予習と復習
10	/	講義	採集に関する基礎知識を理解することができる。	授業内容の予習と復習
11	/	講義	昆虫の個体価値評価方法を理解することができる。①	授業内容の予習と復習
12	/	講義	昆虫の個体価値評価方法を理解することができる。②	授業内容の予習と復習
13	/	実習・講義	カメイ美術館訪問・試験対策	授業内容の予習と復習
14	/	講義	レポート作成に関する基礎知識	授業内容の予習と復習
15	/	講義・試験	各国昆虫フェアに関して	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英)	昆虫ブリーディング I ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	インセクトブリーダーを理解し、適切な生体管理・ブリーディングができるために必要な技術・知識を学ぶ						
到達目標	基本的な知識、技術を習得し、インセクトブリーダーとして適切な昆虫の管理・ブリーディングを行えるようになることを目標とする						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	昆虫の多様性とブリーディングの重要性	講義内容の予習・復習
2	/	講義・演習	カブトムシとクワガタの特徴と生態	講義内容の予習・復習
3	/	講義・演習	カブトムシとクワガタの生活史と成長段階	講義内容の予習・復習
4	/	講義・演習	昆虫の飼育環境とエサの選定	講義内容の予習・復習
5	/	講義・演習	カブトムシとクワガタの飼育管理と健康管理	演習内容の予習・復習
6	/	講義・演習	カブトムシとクワガタの繁殖と交尾行動	講義内容の予習・復習
7	/	講義・演習	卵の管理と孵化のプロセス	講義内容の予習・復習
8	/	講義・演習	幼虫期の飼育と成長管理	演習内容の予習・復習
9	/	講義・演習	幼虫期からさなぎへの変態とサナギ期の管理	演習内容の予習・復習
10	/	講義・演習	成虫期の飼育と繁殖行動	演習内容の予習・復習
11	/	講義・演習	羽化した成虫の性別判別とセックス比の理解	演習内容の予習・復習
12	/	講義・演習	成虫の寿命と寿命延長のためのケア	演習内容の予習・復習
13	/	講義・演習	遺伝的多様性と選択育種の基礎	演習内容の予習・復習
14	/	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	/	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	昆虫採集 I ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	昆虫採集の基本知識として、採集器具の使用と選定、採集の手法と技術、標本の作成と保存方法を学ぶ。実際にフィールドに出て、採集器具の使い方の実践、標本作成と保存演習、昆虫保護活動への参加をする。						
到達目標	カブトムシとクワガタについての基本的な生態と分布について理解する。 昆虫採集に使用する器具の選定と使い方を知り、実際に使用できる。 フィールドワークと実技実習を通じて、カブトムシとクワガタの採集技術を習得する。 採集した昆虫を標本化する手順を理解し、標本の作成と保存を実践できる。 昆虫の生態系に関する理解を深め、昆虫保護活動の意義と方法を理解する。 環境への配慮と倫理観を持ちながら、昆虫採集を楽しむことができる。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義・演習	昆虫採集の基本技術	講義内容の予習・復習
2	／	講義・演習	カブトムシ・クワガタの生態と採集方法	講義内容の予習・復習
3	／	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
4	／	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
5	／	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
6	／	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
7	／	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
8	／	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
9	／	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
10	／	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
11	／	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
12	／	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
13	／	講義・演習	昆虫採集における観察とデータ収集	演習内容の予習・復習
14	／	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	／	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	標本制作 I (Specimen Curation I)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	カブトムシ、クワガタなどをはじめとする様々な昆虫の標本作成技術、またそれらを管理・保管するための方法を勉強する。標本販売に携わる知識の他にも、学術的な用途で使用される標本の取り扱い方についても理解する。						
到達目標	様々な昆虫の殺虫処理から展足、完成標本の管理といった一連の工程を理解し、自ら実践可能にする。標本作成と標本管理の重要性を理解し、その学術的な価値を正しく認識出来るようになる。						
評価方法と基準	実技試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
2	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
3	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
4	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
5	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
6	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
7	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
8	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
9	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
10	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
11	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
12	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
13	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
14	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
15	／	試験	試験	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英名)	グローバルコミュニケーション I (Global Communication I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 16	開講区分	通年
教員の略歴	本部国際センターであり、英語をはじめとする外国語教育を3万6000人の学生に対して提供しています。毎年、英語スピーチコンテストを主催し、入賞した学生をオーストラリアのクイーンズランド大学やアメリカのウエストフロリダ大学をはじめ教育提携校に短期語学留学で派遣しています。						
授業の学習 内容	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	授業内評価100%(前期、後期それぞれ各レッスンの小テスト計5回/1 Unit × 6 Unit = 30回、出席率、試験)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		演習	個人的な情報について尋ねる、また述べる ことができる。個人的な経歴等のプロフィール を読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書 かれている情報を読みとることができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書く ことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	平日、週末のアクティビティについて話すこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	日常のアクティビティについてのレポートを 読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	道順について尋ねる、また教えることが できる。	対面前オンデマンド予習
		演習	場所についての特徴について読み、書くこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	テスト前対策	
		演習	試験	
		演習	ふりかえり	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	進級制作 I ()	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	1	担当教員	坂本
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	ツ
教員の略歴	専門学校卒業後、実験動物飼育管理、移動動物園、2005年TCA入職、2008年SCA移動						
授業の学習内容	グループ毎にテーマを設定し、自主的に調査、研究を積み重ね、卒業制作展(1月下旬予定のWe are ECO)を目標として論文やパネルの作成、口頭発表の準備を行う。						
到達目標	動物園や水族館などでは、日々の飼育業務だけでなく、希少な動物の保護及び繁殖、飼育環境の改善のために、生態や行動をよく観察し、飼育方法や繁殖方法の確立、より良い飼育環境作りを目指すことも大切な仕事となっており、その重要性は年々高まっている。その基礎となるのが「研究」という視点と思考であり、自分で調べて考えた事柄を客観的に他者に伝わる形にまとめ上げ、プレゼンテーションする力を身に付ける。そして、1月下旬のWe are ECOで発表し、2月上旬のJESC奨励賞推薦作品になることを目指す。						
評価方法と基準	出席20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、抄録とプレゼンテーションのクオリティ)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	卒業研究についてのガイダンス、テーマ募集、グループ分けも検討	卒業研究テーマ、内容、グループを次回まで決める
2	/	講義	卒業研究のテーマとグループ分け決定、グループ毎での進め方を話し合う	卒業研究テーマについて文献等の調査
3	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
4	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
5	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
6	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
7	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
8	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
9	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
10	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
11	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
12	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
13	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
14	/	講義	中間発表 経過報告	
15	/	講義	前期のまとめ	卒業研究の進行状況を振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	キャリアデザイン II ()	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂本
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年 曜日・時限
教員の略歴	専門学校卒業後、実験動物飼育管理、移動動物園、2005年TCA入職、2008年SCA移動						
授業の学習内容	学校での校内講義、および校外講義を実施し、職業人教育を通し、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。 また個人での取り組みや、グループでの取り組みを行い、主体性を身につける。						
到達目標	個人及びグループ内でお客様や展示を考慮し、ニーズに合わせた企画、発表ができる。 企業の取り組みについて、理解する。						
評価方法と基準	レポート50%、取り組み状況・課題提出20%、出席30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	○サポートアンケート・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・挨拶、時間管理、整理整頓・サポートアンケート	授業内容の予習・復習
2	/	講義・演習	○ITリテラシーテスト・傾聴・挨拶、時間管理、整理整頓・教務自己紹介・ITリテラシーテスト	授業内容の予習・復習
3	/	講義・演習	○映像鑑賞・傾聴・挨拶、時間管理、整理整頓・SOSを出すことについて・植松努氏動画(TED)	授業内容の予習・復習
4	/	講義・演習	○ネットリテラシー・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・ネットリテラシーといじめ	授業内容の予習・復習
5	/	講義・演習	○自己紹介・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・自己紹介	授業内容の予習・復習
6	/	講義・演習	○グループで協力するということ・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・動画鑑賞	授業内容の予習・復習
7	/	講義・演習	学祭準備	授業内容の予習・復習
8	/	講義・演習	○グループワークについて・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・グループワークのやり方について	授業内容の予習・復習
9	/	講義・演習	○グループワーク実践・グループワーク実践	授業内容の予習・復習
10	/	講義・演習	○独自アンケート・独自アンケート	授業内容の予習・復習
11	/	講義・演習	○夏休み前HR・出席率の確認・単位についての説明・生活リズムを崩さないように・この夏にしかできないことをしてみる	授業内容の予習・復習
12	/	講義・演習	○グループワーク・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・グループワーク	授業内容の予習・復習
13	/	講義・演習	○映像鑑賞・動画を見て話し合う	授業内容の予習・復習
14	/	講義・演習	○映像鑑賞・動画を見て話し合う	授業内容の予習・復習
15	/	講義・演習	○人との関わりについて	授業内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ビジネスマナーⅡ ()	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	野崎広治
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサルティング、企業研修講師など様々な活動を行う						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーと聞くと堅苦しく難しいイメージがあるが、マナーは社会人になった時だけでなく、学生生活における友人関係、研修、実習、アルバイトにおける接客など学生生活にも活用することができる。つまり、マナーは学生を含む全ての職業に共通する極めて重要な考え・スキルである。 ・本授業では、学校・ビジネスの場で活用できる知識とスキルを提供していく。また、知識とスキルは授業で学んだだけでは、習得(自分のものに)することができない。学んだことは日常生活で実践を兼ねた復習を必ず行うこと。 ・本授業は、ペア演習、グループ演習など議論や演習の場が多い。体調面、精神面、友人関係上の問題から配慮してほしいことがあれば講師に申し出ること。担任に確認の上対応する。 ・スマートフォンを活用する場合がありますので充電をしっかりとしておくこと。 ・授業内容は学生の状況を見て変更することがある。 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 職業人に求められるビジネスレベルのマナーの土台を作る ② 様々な人と円滑なコミュニケーションを取る手法を身につける ③ 自己管理の手法を身につけ、自ら成長を作り出すことができる 						
評価方法と基準	<p>授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。</p> <p><評価方法> ①試験:50%(50点)・・・100点を1/2にする ②授業態度・提出物50%(50点)</p> <p>①②合計で100点。成績は右記の通り(S100～90点 A89～80点 B79～70点 C69～60点 F59～0点)</p> <p>※試験の実施形式は学生の授業取り組み状況、レベルから形式を検討する。試験前の授業で通知する。</p> <p>※②について、授業中の睡眠・電子機器の無許可使用・隠れて使用・人を馬鹿にする行為・仲間外れは即0点とする</p> <p><追試>筆記試験 ※持ち込み不可</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	授業の目的とゴールの理解 【基本動作】マナーの基礎、挨拶の理解とトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
2	/	講義・演習	【基本動作】話の聞き方、表情、会話のトレーニング 【自己成長】習慣化の重要性	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
3	/	講義・演習	【基本動作】ものの受け渡し、指示受け、お礼、敬語、クッション言葉の理解とトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
4	/	講義・演習	【コミュニケーション】伝えたいことわかりやすく伝える話法の理解とトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
5	/	講義・演習	【基本動作】書類の書き方、郵便物の出し方、電話の作法の理解とトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
6	/	講義・演習	【コミュニケーション】会話を広げ、深める質問スキルの理解とトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
7	/	講義・演習	【基本動作】SNSの注意点、オンラインコミュニケーション、メールマナーの理解とトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
8	/	講義・演習	【自己管理】メンタルヘルスの理解と様々な事柄に対応するための認知の理解とトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
9	/	講義・演習		授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
10	/	講義・演習	【チームコミュニケーション】演習を通じて、チームコミュニケーションのポイントの理解	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
11	/	講義・演習	【自己管理】QCDと経験学習・PDCAの理解とケーススタディからのトレーニング	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
12	/	講義・演習	【基本動作】訪問のマナー、報連相と基本動作のチェック&復習	授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
13	/	講義・演習		授業の学びを日常生活で実践する その他、状況に応じて設定
14	/	試験	試験実施	試験準備
15	/	講義・演習	評価の仕組みを知る。前期の振り返りを行い、学びの言語化、後期へ向けた行動を明確にし成長につなげる	後期の学生生活の過ごし方を考える
準備学習 時間外学習			適宜提示する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
講師作成資料を使用。その他参考資料は適宜紹介する				

科目名 アニマルケア (英) (Animal Care)		必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	長嶺 幸介		
学科・コース		エコ・コミュニケーション科3年制	インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年
教員の略歴		競走馬牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究所副理事							
授業の学習内容		動物飼育の仕事に従事するにあたって必要な知識や、動物たちに対しての正しい取り扱いについて学ぶ 動物たちの生命に対して責任をもってお世話ができ、適正な扱いや考え方を学ぶ							
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・動物たちの適正管理ができる ・動物たちに対して丁寧で愛情を持った扱いや考え方ができる ・観察力を身につける 							
評価方法と基準		授業内評価: 40% 定期試験: 60%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物の適正管理について理解できる	ノート整理とまとめ
2	/	〃	観察方法と記録方法について理解できる	〃
3	/	〃	観察とまとめ方	〃
4	/	〃	動物の行動管理について理解できる	〃
5	/	〃	適正な行動をするために必要なことが理解できる	〃
6	/	〃	動物福祉とエンリッチメント	〃
7	/	〃	エンリッチメントと検証	〃
8	/	〃	トレーニング理論を知る	〃
9	/	〃	トレーニング理論について理解できる	〃
10	/	〃	適正な食事管理について理解できる	〃
11	/	〃	草木類の主な種が同定できる(野生)	〃
12	/	〃	草木類の主な種が同定できる(牧草)	〃
13	/	〃	草木類の主な種が同定できる	〃
14	/	〃	テスト	〃
15	/	〃	まとめ	〃
16	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	魚類研究 (Fish Biology)	必修 選択	必修 選択	年次	1、2、3	担当教員	岡村淳市
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	民営、公立、公営の3形態の水族館に勤務、展示・教育普及部門を経験する。学芸員有資格者						
授業の学習内容	水圏(海洋域・陸水域)にひろく分布する魚類の形態学、系統分類学、生態学を 総論と各論で学び、間口の広い理解力を培う。 近年、従来の定説が覆される事例も多いので最新の調査研究結果も紹介しながら授業を進める。						
到達目標	①魚類生物学的諸研究の最新事情を把握する。 ②分類学 リンネ式学名の成り立ち、運用について理解を深める。 ③系統学 分類上の発展的な位置を確認する。 ④産業・生態的に重要と考えられる分類群は特に取り上						
評価方法と基準	記述試験60% 授業内評価40% (記述試験 :理解度、解説・文章力を評価) (授業内評価:受講姿勢、発言および出席率を評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/9	講義	種名・学名・和名の分類を知る。	配布資料巻末の「まとめ」を各自復習
2	4/16	講義	命名規約、系統樹を知る。	〃
3	4/23	講義	基礎的構造や名称を知る。	〃
4	5/7	講義	体形の種類や体色を知る。	〃
5	5/14	講義	浸透圧調整や鰓の機能を知る。	〃
6	5/21	講義	側線や母川回帰について知る。	〃
7	5/28	講義	現生円口類と大量絶滅の関連を知る	〃
8	6/11	講義	主な板鰓類の特徴を知る。	〃
9	6/18	講義	現生レリック(遺存種)を知る。	〃
10	6/25	講義	原始的な条鰭類を知る。	〃
11	7/2	講義	現生硬骨魚類を知る。	〃
12	7/9	講義	〃	〃
13	7/16	講義	各巻末資料の「まとめ」を解説する。	
14	8/20	試験	記述テスト	
15	8/27	講義	試験結果の質疑・回答および解説	
準備学習 時間外学習			授業予定テーマの予習および各巻末まとめ問題の復習	
【使用教科書・教材・参考書】 各回配布資料				

科目名 (英)	フィールドワークⅡ ()	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	鈴木則文
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	自然体験のアクティビティを提供するNPO法人森の学校を運営						
授業の学習内容	野生動物の生態調査と観察方法に焦点を当てます。学生はフィールドワークを通じて、野生動物の生息地、痕跡、行動などを詳細に調査し、データを収集します。						
到達目標	野生動物調査の基本的なスキルと技術を獲得する 野生動物の生息地や行動パターンを正確に記録し、データを収集する能力を養う 野生動物の生態系や習性に関する理解を深める						
評価方法と基準	フィールドワークでの実績を総合的に評価 フィールドノートやデジカメでの記録、実地での活動姿勢や成果を評価する。 生息地や痕跡の特定、食性評価や個体調査の正確さ、データ解析の能力など、実技と理論の両面をバランスよく評価する。 調査結果の発表と議論を通じて、学生同士の意見交換やフィードバックを行い、協調性やコミュニケーション能力を評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	フィールドノートの重要性和記入方法	
2	/	演習	デジカメでの観察記録	
3	/	演習	双眼鏡、フィールドスコープによる観察	
4	/	演習	GPSの役割と使用方法	
5	/	演習	自動カメラを用いた哺乳類調査の手法と実践1	
6	/	演習	自動カメラ実践2 植生毎の違いを知る	
7	/	演習	自動カメラ実践3 予想と結果で実際を知る	
8	/	演習	痕跡調査と読み取り	
9	/	演習	野生動物の個体調査の目的と手法	
10	/	演習	巣箱を用いた野鳥の繁殖調査と管理	
11	/	演習	クルミを用いたニホンリスの観察と調査手法	
12	/	演習	巣箱を用いた野鳥の繁殖調査と管理	
13	/	演習	様々なフィールドで実践し多様性を知る1	
14	/	演習	様々なフィールドで実践し多様性を知る2	
15	/	演習	環境への配慮と安全対策	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	動物行動学Ⅱ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2年	担当教員	大竹静枝
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年 曜日・時限
教員の略歴	野生ニホンザル、新世界ザルの調査に従事。ロスアンデス大学、宮城教育大学、専門学校での講師歴は34年に及ぶ。						
授業の学習内容	1)動物園観察会の発表と運営を自分達でおこなう。 2)生命の誕生から、現存の動物に至る道筋を学ぶ。						
到達目標	1)動物を扱うプロとして、お客様対応の技術をつける。 2)現存の動物がもつ、形と行動の意味を把握する。						
評価方法と基準	ルービック評価を採用 1)レポート、テスト40% 2)授業態度 30% 3)出席数 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	地球史と質問力の必要性、見学予定	観察会口頭原稿の持参
2	4月19日	講義	観察会進行、役割分担と問いかけ確認	問いかけを複数準備
3	4月26日	動物園リハーサル	観察会の運営と最終確認	小道具の準備と進行の確認
4	5月10日	動物園観察会	各自最高の発表を目指す	発表原稿の暗記
5	5月17日	動物園観察会	(自習課題:酸素大発生之谜を知る)	課題レポートの仕上げ
6	5月24日	講義	観察会反省と次の発表課題	新たなテーマに挑戦
7	5月31日	講義	何故、地球に生命が発生したか?	地球史の復習
8	6月14日	講義	カンブリア紀の軍拡競争	地球史の復習
9	6月21日	講義	植物上陸による、新たなステージ	地球史の復習
10	6月28日	講義	恐竜絶滅	地球史の復習
11	7月5日	講義	哺乳類の夜明け	前回の復習
12	7月12日	講義	林冠の共生関係	前回の復習
13	7月19日	施設見学	東北大学付属植物園	課題レポート仕上げ
14	9月6日	テスト	前期の振り返り	課題レポート提出
15	9月13日	講義	総復習	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ 映像機器、ボード、資料コピーを使用				

科目名 (英)	クラフトワーク (Craft Work)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	佐藤勇
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	元 東武動物公園飼育員・クリーランドコンサベーションパーク(オーストラリア)飼育員						
授業の学習内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」 動物園の園長から最近の学生は工具の使い方が全く分からない。だから道具を使える学生にしてほしいと言われた。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」 動物に関わるモノづくりの為、動物の行動や生態生理等すべての科目とつながる。 ③「学生にどうなって欲しいか」(講師の思い) 飼育作業を通して必要なものが作れる。また壊れたものを直せる技術を持った飼育員になってほしい。						
到達目標	①学生が達成すべき行動目標(何が出来ようになるか)と学習内容との関係を記載 基本である手動(ノコギリ等)の工具が使い、さらに電動工具を正しく安全に使いそれをベースに木材・アクリル・塩ビパイプ・ガラス等の素材を使った加工が出来るようになること。						
評価方法と基準	モノづくりには得手不得手がある。上手い学生は上手い苦手な学生との差は大きい。また作業が早い学生遅い学生それぞれを均一化する授業ではない。それぞれのペースで手を抜かず一所懸命納得のいくものを作る。その結果の評価はそれぞれの個性を尊重した絶対評価とする。特に試験は行わず出来上がった作品と取り組み姿勢それぞれに出席率を加味した総合評価とする。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	/	演習	一事が万事 ①古賀忠道園長DVD「学生製作版」 ②DVD鑑賞:「ビル清掃 新津春子」	自己紹介・DVD鑑賞	
2	/	演習	①雑巾を絞る。ノコギリで角材(30×40)を切る。	ノコギリ・スコヤを使う(引いて切る)	
3	/	演習	キューブ製作①	四角いものを四角にする。	
4	/	演習	キューブ製作②	ボール盤で穴をあける。下穴をミニボール盤であける	
5	/	演習	キューブ製作③	毛がいてインパクトドライバー組立・着色・ニス仕上げ	
6	/	演習	シードサンプル①	講義(鳥)・鳥の餌・すり餌を作る(実演)	
7	/	演習	シードサンプル② シードを覚える(ハト餌・フィンチ餌)	ステンボードを使う	
8	/	演習	DVD鑑賞:「天皇の料理番」研修生の心構え	徒弟制度 「仕事は教えない」	
9	/	演習	小鳥の巣箱製作①	正確に作る・スライドマルノコを使う	
10	/	演習	小鳥の巣箱製作②	角度切り・丁番を使う	
11	/	演習	小鳥の巣箱製作③	ウッドバーニング・丸棒を付ける	
12	/	演習	小鳥の巣箱製作④	着色・仕上げ	
13	/	演習	調整日(進行状況把握) DVD鑑賞:「πウォーター」「コンラートローレンツ」		
14	/	演習	ロープワーク①「もやい結び・他」	6mmクレモナロープを使ったもやい結び・他	
15	/	演習	ロープワーク②「編込み」	編込み末端処理	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 □					

科目名 (英)	デジタルフォト ()	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	2	担当教員	下田
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年
教員の略歴	動物系専門学校卒業後、株式会社PRAZER撮影部門に勤務、2020年よりRisus creatioを設立						
授業の学習内 容	現在、企業活動やこじんかつどうにおいて重要になってきているSNSなどによる情報発信について、かめらの基本的な操作や設定などを学習し・実践することで、技術面の向上を図る						
到達目標	・カメラの正しい取り扱いができるようになる 被写体に応じたカメラの基本的な設定ができるようになる 分のやりたい表現方法に適した撮影方法や設定ができるようになる ・自						
評価方法と基準	定期テスト50%・授業内評価50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	自己紹介と写真と動画の役割	自分の好きな動画や写真を見つけてくる
2	/	演習	カメラの扱いと三大設定	真をみてどんな設定で撮影しているかを考える
3	/	演習	構図	被写体に応じてどのような構図があるか調べる
4	/	演習	光の種類	光の与える印象について調べ考える
5	/	演習	色味による表現の違い	色身によって与える印象について調べ考える
6	/	演習	撮影の種類と適した機材	写真についてどんな環境で撮影したかを考える
7	/	演習	写真と動画の違い	写真と動画の違いについて要素を考える
8	/	演習	撮影	学修した構図などを意識して撮影する
9	/	演習	編集項目(現像)	撮影した写真を編集する
10	/	演習	写真の分析と深堀	なぜ撮影し、なぜその編集にしたのかを考える
11	/	演習	撮影	前回の授業を踏まえ、考えながら撮影する
12	/	演習	編集	撮影した写真を考えながら編集する
13	/	演習	テスト対策前期復習	写真と動画を沢山撮影し素材を集める
14	/	演習	テスト	
15	/	演習	振り返り	後期の動画に備え、素材を集める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	業界研究Ⅱ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2	担当教員	浅岡
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトフリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	環境系NPO法人で耕作放棄地の利活用、環境再生活動、自然教育活動およびその指導に携わる						
授業の学習内 容	校外学習を通して水生生物の生態や生物を取り巻く環境について学ぶ。 野外活動での危険性を知り、自然環境中を含む屋外での安全を意識したイベントを実行できる人材を目指す。 関係する業界が取り組む現状とその将来を、自然体験活動を通して、消費者の観点から考える。						
到達目標	野外活動での危険把握、安全管理の必要性を理解し、安全確保の上で活動することができるようになる。 水辺での各種体験活動を通して、参加者、提供者双方の観点から業界を見ることができるようになる 自然体験活動の実践を通して、その活動に関わる業界の将来について考え、提案できるようになる。						
評価方法と基準	筆記試験 ← 100段階で判定する 取組状況 ← 毎回の演習への取り組み状況を2段階で判定する 提出物 ← 提出物を4項目2段階で判定する (提出期日、正確さ、自律学習度、IT使用) 筆記試験を50%、取組状況と提出物を合わせて50%の計100%が成績となる						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5/9	演習	ポタリングとサイクリングの違いについて説明できる	ワークシート
2	5/9	演習	ポタリングと観光について説明できる	ワークシート
3	5/9	演習	地域密着型観光(業界)について説明できる	提出物:ワークシート(ポタリング)
4	6/13	演習	サーフの危険について説明できる	ワークシート
5	6/13	演習	サーフでの生物採捕について説明できる	ワークシート
6	6/13	演習	釣り(業界)について説明できる	提出物:ワークシート(釣り)
7	7/4	演習	水域移動の注意点について説明できる	ワークシート
8	7/4	演習	パドリングについて説明できる	ワークシート
9	7/4	演習	カヌーについて説明できる	提出物:ワークシート(カヌー)
10	7/18	講義	前期授業のまとめ	前期学習内容について復習をしておく
11	7/25	課題	第1～3回の演習における課題	前期学習内容について復習をしておく
12	7/25	課題	第4～6回の演習における課題	前期学習内容について復習をしておく
13	7/26	課題	第7～9回の演習における課題	前期学習内容について復習をしておく
14	8/22	試験	筆記試験	前期学習内容について復習をしておく
15	8/29	講義	振り返り	試験で間違った問題について復習をする
準備学習 時間外学習		授業内で使用するワークシートのノートへの転記がよい。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
演習時に必要なもの → 用箋ハサミ、フィールドノート、フィールドブーツ、フィールドハット、ユニフォーム、タオル、雨具、カメラ、デジタル水温計、釣り具一式				

科目名 (英)	生物分類技能検定対策講座Ⅱ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2	担当教員	浅岡
		授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻						
教員の略歴	環境系NPO法人で耕作放棄地の利活用、環境再生活動、自然教育活動およびその指導に携わる						
授業の学習内容	生物の分類、形態、生態について学び、理解を深める。 生物(一般)について学び、理解を深める。 生物の実物とその種名について実践を通して学び、理解を深める。						
到達目標	生物分類技能検定試験3級に合格できる知識を習得できる。 動物の「種」をきちんと認識できる。 植物の「種」をきちんと認識できる。 生物多様性について議論することができる。						
評価方法と基準	筆記試験(100段階で採点)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
2	/	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
3	/	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
4	/	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
5	/	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
6	/	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
7	/	講義	模擬試験	これまでに学んだ内容を復習しておく
8	/	講義	模擬試験で間違った内容を再学習し、正答を解説できる	模擬試験で間違った内容について復習をする
9	/	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
10	/	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
11	/	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
12	/	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
13	/	演習	生物実物を観察し適切な種名を回答できる	プリント
14	/	試験	筆記試験	これまでに学んだ内容を復習しておく
15	/	講義	ウイークポイントを克服できる	筆記試験で間違った内容について復習をする
16	/			
準備学習 時間外学習			授業内で使用するプリントのノートへの転記がよい。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
改訂版 生物分類技能検定3級4級 解説集				

科目名 (英)	経営学Ⅱ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	この授業シラバスでは、学生たちがさまざまな領域での知識とスキルを習得し、昆虫ショップ経営において成功するための準備を行います。実践的な演習を重視しながら、現実のビジネス環境に即した課題に取り組むことで、より実践力のある経営者やマネージャーの育成を目指しています。						
到達目標	経営学の授業は、学生たちが授業を通じて成長し、将来の昆虫ショップ経営者やリーダーとして成功するための基盤を築くことを目指しています。さまざまなテーマにわたる実践的な演習とリアルなビジネスシミュレーションを通じて、学生たちが実際のビジネス環境に対応するスキルを身につけることができます。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	昆虫ショップの実技実習: マーケティングキャンペーンの企画	講義内容の予習・復習
2	/	講義	昆虫ショップの成長戦略とM&A	講義内容の予習・復習
3	/	講義	昆虫ショップのスタッフトレーニングとマネジメント	講義内容の予習・復習
4	/	講義	昆虫ショップの事業計画と予算策定	講義内容の予習・復習
5	/	講義	昆虫ショップのリーダーシップと組織文化	演習内容の予習・復習
6	/	講義	昆虫ショップの実技実習: 顧客接点の向上と顧客ロイヤルティ	講義内容の予習・復習
7	/	講義	昆虫ショップのイベント企画と運営	講義内容の予習・復習
8	/	講義	昆虫ショップのデジタルマーケティング戦略	演習内容の予習・復習
9	/	講義	昆虫ショップの競争戦略と差別化	演習内容の予習・復習
10	/	講義	昆虫ショップの実技実習: 効果的な広告制作	演習内容の予習・復習
11	/	講義	昆虫ショップの企業倫理と社会的責任	演習内容の予習・復習
12	/	講義	昆虫ショップのリテールマネジメント	演習内容の予習・復習
13	/	講義	昆虫ショップの実技実習: 顧客対応と問題解決	演習内容の予習・復習
14	/	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	/	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	ショップ演習 I ()	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	坂本
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴							
授業の学習 内容	ペットショップやインセクトショップ、アクアショップなどで必要な知識や技術を身に着けるために、実際のショップでの演習を行う。 お客様とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。 アクア業界、インセクト業界を知る。						
到達目標	ペットショップやインセクトショップ、アクアショップで働くことができる位の知識・技術を身に着ける。						
評価方法と 基準	1)日報・レポート70% 2)実習内評価30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	ペットショップ業界を知る	講義範囲を予習・復習する
2	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
3	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
4	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
5	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
6	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
7	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
8	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
9	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
10	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
11	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
12	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
13	/	演習	ショップで取り扱う生体・商品・経営・コミュニケーションなどを学ぶ	演習範囲を予習・復習する
14	/	演習	評価試験	レポート作成
15	/	演習	振り返り	演習を振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	昆虫学Ⅱ (Principles of Entomology II)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	昆虫に関する分類学、生理学、解剖学、歴史学などの幅広い分野の学問の基礎を学ぶ。さらに昆虫ブリーダーとして、それぞれが飼育・販売業界でどのような関連性があるか、活用可能であるかをケーススタディ等を用いて理解する。						
到達目標	昆虫に関する幅広い分野の学問の重要性を理解し、昆虫ブリーダーとしてそれらの知識を活用する事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	学科説明	授業内容の予習と復習
2	/	講義	基礎写真撮影(スマホ・コンデジ)を理解することができる。	授業内容の予習と復習
3	/	講義	基礎写真撮影(技術解説)を理解することができる。	授業内容の予習と復習
4	/	講義	アカデミックライティング 第一回テーマ決めチュートリアル	授業内容の予習と復習
5	/	講義	基礎写真撮影 撮影会	授業内容の予習と復習
6	/	講義	基礎写真編集を理解することができる。	授業内容の予習と復習
7	/	講義	写真討論会	授業内容の予習と復習
8	/	講義	昆虫学と倫理を理解することができる。	授業内容の予習と復習
9	/	講義	虫供養	授業内容の予習と復習
10	/	講義	採集に関する応用知識を理解することができる。	授業内容の予習と復習
11	/	講義	レポート作成の基本を理解することができる。	授業内容の予習と復習
12	/	講義	キュレーション基礎を理解することができる。	授業内容の予習と復習
13	/	講義	レポート作成②	授業内容の予習と復習
14	/	講義	レポート作成③	授業内容の予習と復習
15	/	試験	試験	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英)	昆虫ブリーディングⅡ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	インセクトブリーダーを理解し、適切な生体管理・ブリーディングができるために必要な技術・知識を学ぶ						
到達目標	基本的な知識、技術を習得し、インセクトブリーダーとして適切な昆虫の管理・ブリーディングを行えるようになることを目標とする						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
2	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
3	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
4	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
5	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
6	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
7	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
8	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
9	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
10	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
11	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
12	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
13	／	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
14	／	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	／	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	昆虫採集Ⅱ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	昆虫採集の基本知識として、採集器具の使用と選定、採集の手法と技術、標本の作成と保存方法を学ぶ。実際にフィールドに出て、採集器具の使い方の実践、標本作成と保存演習、昆虫保護活動への参加をする。						
到達目標	カブトムシとクワガタについての基本的な生態と分布について理解する。 昆虫採集に使用する器具の選定と使い方を知り、実際に使用できる。 フィールドワークと実技実習を通じて、カブトムシとクワガタの採集技術を習得する。 採集した昆虫を標本化する手順を理解し、標本の作成と保存を実践できる。 昆虫の生態系に関する理解を深め、昆虫保護活動の意義と方法を理解する。 環境への配慮と倫理観を持ちながら、昆虫採集を楽しむことができる。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	昆虫採集の基本技術	講義内容の予習・復習
2	/	講義・演習	カブトムシ・クワガタの生態と採集方法	講義内容の予習・復習
3	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
4	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
5	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
6	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
7	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
8	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
9	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
10	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
11	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
12	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
13	/	講義・演習	昆虫採集における観察とデータ収集	演習内容の予習・復習
14	/	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	/	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	標本制作Ⅱ (Specimen CurationⅡ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	カブトムシ、クワガタなどをはじめとする様々な昆虫の標本作成技術、またそれらを管理・保管するための方法を勉強する。標本販売に携わる知識の他にも、学術的な用途で使用される標本の取り扱い方についても理解する。						
到達目標	様々な昆虫の殺虫処理から展足、完成標本の管理といった一連の工程を理解し、自ら実践可能にする。標本作成と標本管理の重要性を理解し、その学術的な価値を正しく認識出来るようになる。						
評価方法と基準	実技試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
2	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
3	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
4	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
5	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
6	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
7	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
8	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
9	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
10	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
11	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
12	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
13	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
14	/	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
15	/	試験	試験	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英)	アカデミックライティング I (Academic Writing II)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	生体、標本問わず昆虫を扱う上で重要な学術的論文・レポートの書き方や読み方について学習する。						
到達目標	学術的な論文なレポートの基本的な構成を理解することができる。						
評価方法と基準	筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる①	授業内容の予習と復習
2	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる②	授業内容の予習と復習
3	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる③	授業内容の予習と復習
4	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる④	授業内容の予習と復習
5	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑤	授業内容の予習と復習
6	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑥	授業内容の予習と復習
7	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑦	授業内容の予習と復習
8	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑧	授業内容の予習と復習
9	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑨	授業内容の予習と復習
10	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑩	授業内容の予習と復習
11	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑪	授業内容の予習と復習
12	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑫	授業内容の予習と復習
13	/	講義	アカデミックライティング基礎について学ぶことができる⑬	授業内容の予習と復習
14	/	講義	レポート作成	授業内容の予習と復習
15	/	試験	1st formative 提出	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英)	エコツアープランニング (Eco Tour Planning)	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	加藤直邦
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	ケニア・プロサファリガイド / アフリカ野生生物管理大学 / 青年海外協力隊、環境教育活動						
授業の学習内容	コミュニケーション能力を高めることで、社会で求められる人材をめざす。プレゼン技術を体得する上で、自分に自信をつける。また、自分の主張を通すだけでなく、人の話を聞く大切さを身につける。 主に観光業において国際社会に対応するための必須英会話を習得。						
到達目標	生徒一人一人興味あることや、野生動物、環境保全に関するトピックを自分で調べ、発表し、全員と情報をシェアする。ときにはPCルームでプレゼン資料を作成する。『森林インストラクター』や『プロジェクトワイルド』などの教材を用いて、アウトドアビジネスでも実践可能なアイスブレイクやアクティビティを体験し習得できる。						
評価方法と基準	評価表などを用いて、聞き手側全員でプレゼンターの評価をおこなう。 発表をおこなった回数分加点評価にする(合計80%) 授業内評価(20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	自己紹介、プレゼンテーションを学ぶの意義を知る	この授業を学ぶことで、社会でどのようにプレゼン力が必要なのか考えてみる
2	/	講義・演習	グループアクティビティを通して、自分自身を知る	教室で紹介する本を探し、発表の練習をする
3	/	講義・演習	読書発表を通して、相手のことを知り共感力を学ぶ	紹介してもらった本を自分で読んでみる
4	/	講義・演習	課外実習	フィールドブックやインターネットを利用して、生息する生物種を調べる
5	/	講義・演習	マイフィールドマップを作成し、地理力を高め身近な自然について再確認する	もう一度、家の近所の環境を観察してみる
6	/	講義・演習	写真撮影テクニックを駆使して、相手に共感してもらえる記事を考える	相手の作品を客観的に評価する
7	/	講義・演習	新聞記事を作成し、相手から共感してもらえる方法を学ぶ	最近の野生動物にまつわる問題など、新聞の記事になるネタを探す
8	/	講義・演習	新聞記事を作成し、相手から共感してもらえる方法を学ぶ	最近の野生動物にまつわる問題など、新聞の記事になるネタを探す
9	/	講義・演習	実習の振り返り、発表する	インターネットや書籍で他の条約地を調べてみる
10	/	講義・演習	日本の自然保護区について学ぶ	フィールドブックやインターネットを利用して、生息する生物種を調べる
11	/	講義・演習	UNESCOジオパークについて学ぶ	インターネットや書籍で他のジオパークを調べてみる
12	/	講義・演習	天然記念物と外来種について学ぶ	自分が興味のある外来種を調べてくる
13	/	講義・演習	狩猟免許について学ぶ	インターネットや書籍で鳥獣保護法について調べてみる
14	/	講義・演習	中間テスト、バーチャルサファリガイドをおこない、ガイド力を身につける	評価表を用いて、参加者は発表者の評価採点をおこなう。
15	/	講義・演習	中間テストの振り返り	次回からの熱帯雨林について事前調査してくる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ネイチャーガイド (Nature Guide)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	加藤直邦
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	ケニア・プロサファリガイド / アフリカ野生生物管理大学 / 青年海外協力隊、環境教育活動						
授業の学習内容	環境、観察、観光の3つのキーワードを用いて、アフリカのサバンナや中年米の熱帯雨林など、実際に講師が観察した経験と画像をもとに、熱帯区の動物の野生での行動と、環境のつながりを学ぶ。哺乳類だけでなく鳥類、両生・爬虫類、昆虫、植物も網羅し、生態学を理解する。国内外各地の自然保護の現状を学び、ネイチャーガイドとして必要な知識や安全対策、心構えなどを習得する。 海外で働くことも前提として、英語ガイドブックの翻訳など必要とされる英語力を身につける。						
到達目標	世界中の自然観察の魅力を知り、国際的な知識や感覚を養い、海外での就職も視野に入れる。生態学、地質学、生物多様性を学び、それらの知識を活かしたネイチャーガイド業務の育成。実際に自然保護区へ訪問するための具体的な方法やコツを習得できる。『インバウンド実務主任者』『観光英語検定』資格を参考にして、観光業の基礎や、今後成長するインバウンドビジネスに対応できる英会話力を身につける。						
評価方法と基準	理解力確認のためのミニ・テスト。 「プレゼンテーション」授業と合わせてグループ発表や個人発表をおこない、聴講者による評価をおこなう。 ミニテスト(20%)、課題提出(20%)、発表(40%)、授業内評価(20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	授業内容の説明 サバンナの概要を把握する	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
2	/	講義・演習	マサイマラ国立保護区の概要 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
3	/	講義・演習	サバンナ草原地帯の生態を知る 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
4	/	講義・演習	課外実習	フィールドブックやインターネットを利用して、生息する生物種を調べる
5	/	講義・演習	サバンナ低木地帯の生態を把握する 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
6	/	講義・演習	サバンナ低木地帯の生態を把握する 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
7	/	講義・演習	アカシア疎開林の生態を把握する 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
8	/	講義・演習	アカシア疎開林の生態を把握する 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
9	/	講義・演習	サバンナ山岳地帯の生態を把握する 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
10	/	講義・演習	サバンナの水辺の生態を把握する 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
11	/	講義・演習	サバンナ湿原の生態を把握する 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
12	/	講義・演習	アフリカにおける保護の現状と、 観光の両立について考える	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
13	/	講義・演習	アフリカ人類発祥説と進化を学ぶ 観光に関わる英会話レッスン	各自、ガイドブックやインターネットを利用して授業内容にかかわる動植物を調査する
14	/	講義・演習	中間テスト、バーチャルサファリガイドをおこない、ガイド力を身につける	評価表を用いて、参加者は発表者の評価採点をおこなう。
15	/	講義・演習	中間テストの振り返り	参加者からの評価を聞く
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	販売士検定試験対策講座 ()	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	高橋恭子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年金曜日 4・5時限 曜日・時限
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>仕事をするには必ず顧客目線が大事になる。 相手が何を欲しがっていて、それをどのように提供すれば結果に結びつくのか。 どんな仕事にも必要となるマーケティングの基礎を、販売士3級の資格試験合格を目指しながら、身につける。</p>						
到達目標	<p>1、販売士3級を取得する 2、流通業の特性、在庫管理などのマーチャンダイジング、店舗運営方法の実務、マーケティング、経営管理などの知識を体系的に理解することができるようになる。</p>						
評価方法と基準	<p>①平常点(関心・意欲・態度)20点 ②小テスト20点 ③期末テストまたは本番の合否60点</p>						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	流通業とは何か、流通の仕組みを理解する		
2	4月19日	講義	「開店準備の業務」「日常の運営管理」について理解する。		
3	4月26日	講義	「メンテナンス業務」「チェックアウト業務」「ミーティング」について理解する。		
4	5月10日	講義	「包装技術」について理解する。		
5	5月17日	講義	「ディスプレイの目的と役割」について理解する		
6	5月24日	講義	「ディスプレイの基本パターン」について理解する		
7	5月31日	講義	「小売業の現状」について理解する。		
8	6月14日	講義	「組織小売業の種類と特徴」について理解する		
9	6月21日	講義	「チェーンストアの意味、ねらい、種類、特徴」について理解する		
10	6月28日	講義	「販売形態」について理解する		
11	7月5日	講義	「業態と業種の違い」「百貨店と専門店の仕組み」を理解する		
12	7月12日	講義	「総合スーパー、SM、CVSの定義と特徴」を理解する		
13	7月19日	講義	「HC、DGS、その他の店舗形態」について理解する		
14	8月23日	講義	期末試験		
15	8月31日	講義	「商店街の現状」「ショッピングセンターの特徴」を理解する 及び期末試験の振り		
	/				
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 □					
販売士ハンドブック基礎編(上下巻) リテールマーケティング3級問題集(Part1・2)					

科目名 (英)	進級制作Ⅱ ()	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	2	担当教員	坂本
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	専門学校卒業後、実験動物飼育管理、移動動物園、2005年TCA入職、2008年SCA移動						
授業の学習内容	グループ毎にテーマを設定し、自主的に調査、研究を積み重ね、卒業制作展(1月下旬予定のWe are ECO)を目標として論文やパネルの作成、口頭発表の準備を行う。						
到達目標	動物園や水族館などでは、日々の飼育業務だけでなく、希少な動物の保護及び繁殖、飼育環境の改善のために、生態や行動をよく観察し、飼育方法や繁殖方法の確立、より良い飼育環境作りを目指すことも大切な仕事となっており、その重要性は年々高まっている。その基礎となるのが「研究」という視点と思考であり、自分で調べて考えた事柄を客観的に他者に伝わる形にまとめ上げ、プレゼンテーションする力を身に付ける。そして、1月下旬のWe are ECOで発表し、2月上旬のJESC奨励賞推薦作品になることを目指す。						
評価方法と基準	出席20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、抄録とプレゼンテーションのクオリティ)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	卒業研究についてのガイダンス、テーマ募集、グループ分けも検討	卒業研究テーマ、内容、グループを次回まで決める
2	/	講義	卒業研究のテーマとグループ分け決定、グループ毎での進め方を話し合う	卒業研究テーマについて文献等の調査
3	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
4	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
5	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
6	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
7	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
8	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
9	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
10	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
11	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
12	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
13	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
14	/	講義	中間発表 経過報告	
15	/	講義	前期のまとめ	卒業研究の進行状況を振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	キャリアデザインⅢ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂本
	(Career DesignⅢ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻						
教員の略歴	専門学校卒業後、実験動物飼育管理、移動動物園、2005年TCA入職、2008年SCA移動						
授業の学習内容	学校での校内講義、および校外講義を実施し、職業人教育を通し、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。 また個人での取り組みや、グループでの取り組みを行い、主体性を身につける。						
到達目標	個人及びグループ内でお客様や展示を考慮し、ニーズに合わせた企画、発表ができる。 企業の取り組みについて、理解する。						
評価方法と基準	試験30%、取り組み状況・課題提出20%、出席50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月10日	講義	キャリアサポートアンケート、ITリテラシー	
2	4月24日	講義	クラスノームについて、インターシップについて	
3	5月8日	講義	ZOOMの使い方 関西実習について	事前にZOOMインストール、パソコン持参
4	5月15日	講義、演習	楽天球場観戦	
5	5月22日	講義、演習	学園祭準備(クラスマネジメント、ブレインストーミング)	パソコン持参
6	6月5日	講義、演習	学園祭準備(クラスマネジメント、企画・準備)	パソコン持参
7	6月12日	講義、演習	パッキング練習 POP作成(アクアルーム)	
8	6月19日	講義、演習	パッキング練習 POP作成(アクアルーム)	
9	7月3日	講義、演習	体感型推理ゲーム(クラスマネジメント)	
10	7月10日	講義、演習	POP作成 水族館のチラシなど	
11	7月17日	講義	性格診断	
12	7月24日	講義	性格診断でチーム分けして水族館研究	
13	8月21日	講義	DXリテラシー、担任とおき講座Ⅰ	資料
14	8月28日	講義	担任とおき講座Ⅱ、テスト前ふりかえり	資料
15	9月4日	講義	テスト	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ビジネスマナーⅡ (Business Manner Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	前田英雅
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	長崎大学大学院海洋生産科学研究科博士課程修了後、滋慶学園に就く。今年24年目を迎え、これまで教務部、キャリアセンターを経て、今年度より仙台ECO教務部長へ就任。						
授業の学習内容	タイトルは「ビジネスマナーⅡ」であるが、ビジネスマナーだけではなく卒業年度ということで就職活動に必要な情報、マナー、ルール、スキル、マインドを身につけることを目的とする。そのため、前半で就職活動に必要な情報、知識、スキルを、後半でビジネスマナーを学ぶ。 「ビジネスマナーは相手への配慮」のためのものであるが身につけたら自分自身、仕事がしやすくなるもの。						
到達目標	卒業年度学生に対し、社会人に必要なビジネススキルを身につけ、就職試験を突破できるようになる。またインターンシップ、就職採用試験の流れについて理解し、全員が今年度インターンシップに行き、希望する企業への就職で内定を獲得することができるようになる。						
評価方法と基準	筆記試験。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/4・5	講義	これからの就職活動について	
2	4/9・12	講義	インターンシップの流れについて	
3	4/16・ 19	講義	自己分析・業界研究①	
4	4/23・ 26	講義	自己分析・業界研究②	
5	5/7・10	講義	履歴書作成	
6	5/14・17	講義・演習	面接(グループ・個人・WEB面接)について	
7	5/21・ 24	講義	グループディスカッション	
8	5/28・ 31	講義	合同企業説明会ガイダンス	
9	6/18・ 21	講義	採用試験のビジネスマナー	
10	6/25・ 28	講義	ビジネスコミュニケーション(職場での振る舞い)①	
11	7/2・5	講義	ビジネスコミュニケーション(職場での振る舞い)②	
12	7/9・12	講義	筆記試験&WEBテスト	
13	7/16・ 19	講義	「働くとは」キャリアセンタースタッフより	
14	8/20・ 23	講義	試験	
15	8/27・ 30	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	フィールドワークⅢ (Oversation and FieldworkⅢ)		必修 選択	必・選択必 修・選択等	年次	2	担当教員	浅岡
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトフリーダー・昆虫専攻		授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前・後期・通 年・集中等
教員の略歴	環境系NPO法人で耕作放棄地の利活用、環境再生活動、自然教育活動およびその指導に携わる							
授業の学習内 容	校外学習を通して水生生物の生態や生物を取り巻く環境について学ぶ。 野外活動での危険性を知り、自然環境中を含む屋外での安全を意識したイベントを実行できる人材を目指す。							
到達目標	野外活動での危険把握、安全管理の必要性を理解し、安全確保の上で活動することができるようになる。 水辺での各種活動に必要な道具類の名称と正しい使用法、その管理ができるようになる。 水生生物の最適な観察法や基礎的採捕法を習得することができるようになる。 水辺での各種体験活動において、水生生物の解説ができるようになる。 (こども向けイベント等でやさしい言葉で水生生物の解説ができるようになること)							
評価方法と基準	筆記試験 ← 100段階で判定する 取組状況 ← 毎回の演習への取り組み状況を2段階で判定する 提出物 ← 提出物を4項目(提出期日、正確さ、自律学習度、IT使用)で判定する 筆記試験で50%、取組状況と提出物を合わせて50%、の合計を評価点とする							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/12	講義	野外での安全管理・危険について説明できる	身近な危険、野外での危険について議論する
2	4/19	講義	河川での活動における危険について説明できる	ワークシート
3	4/26	講義	海での活動における危険・危険生物について説明できる	ワークシート
4	5/10	講義	タモを使用した基本的採捕法の説明ができる	ワークシート
5	5/17	演習	微小生物を含む小型水生生物の解説ができる	ワークシート
6	5/24	講義	採捕道具(釣り道具)について解説できる	ワークシート
7	5/31	演習	底生魚類・甲殻類の採捕について解説できる	ワークシート
8	5/17・5/31	課題	第5回、第7回の演習における課題	ワークシート
9	6/14	講義	河川生物(水生昆虫)のホタルについて解説できる	ワークシート
10	6/21	演習	ホタルの観賞における留意点について解説できる	ワークシート
11	6/28	講義	湿地での活動について解説できる	ワークシート
12	7/5	演習	干潟生物およびその観察について解説できる	ワークシート
13	6/21・7/5	課題	第10回、第12回の演習における課題	ワークシート
14	7/12	講義	前期授業のまとめ	左記学習内容について復習(3時間以上)をする
15-1	9/8	試験	筆記試験	前期学習内容について復習(3時間以上)をする
15-2	9/13	講義	振り返り	試験で間違えた項目について復習をする
準備学習 時間外学習		授業内で使用するワークシートのノートへの転記がよい。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
演習時に必要なもの → 用箋ハサミ、フィールドノート、フィールドブーツ、フィールドハット、ユニフォーム、タオル、雨具、カメラ、デジタル水温計、釣り具一式				

科目名 (英)	海洋保全 (Marine Ecology)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	岡村淳市
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	<p>民営、公立、公営の3形態の水族館に勤務、展示・教育普及部門を経験する。学芸員有資格者</p>						
授業の学習内容	<p>海洋国家・日本と国際社会の基本的なルールを学び、置かれている現状を理解する。 また、動物園水族館を博物館法の視点から見つめ調査・研究機関であることも認識する。 ワークショップ形式の各術をもって、自ら作成した出来形を完成させる。</p>						
到達目標	<p>①海洋に関する国際的な法規の解釈を理解する。 ②海洋・陸水に関する国内的な法規を理解する。 ③海洋の調査・研究機関でもある博物館機能や国家資格制度について知見を得る。 ④志望する分野の職業に就いたときのために、現状に対する課題解決能力を養う。</p>						
評価方法と基準	<p>記述試験60% 授業内評価40% (記述試験 : 理解度、解説・文章力を評価)</p> <p>(授業内評価: 受講姿勢、発言および出席率を評価)</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/9	講義	海と人の関わり、産業の発展を知る。	配布資料巻末の「まとめ」を各自復習
2	4/16	講義	海洋の国際条約の解釈を知る。	〃
3	4/23	講義	海洋・陸水の国内法令などを知る。	〃
4	5/7	講義	種の多様性と外来種問題を知る。	〃
5	5/14	講義	博物館法と指定管理者制度を知る。	〃
6	5/21	講義	水産業の課題と養殖業の基礎を知る	〃
7	5/28	講義	保全と保護の違いや事例を知る。	〃
8	6/11	演習	統計分析術を習得できる。	
9	6/18	演習	〃	
10	6/25	演習	資料保存術を習得できる。	
11	7/2	演習	〃	
12	7/9	演習	〃	
13	7/16	講義	各巻末資料の「まとめ」を解説する。	
14	8/20	講義	記述テスト	
15	8/27	講義	試験結果の質疑・回答および解説	
準備学習 時間外学習			授業予定テーマの予習および各巻末まとめ問題の復習	
【使用教科書・教材・参考書】 各回配布資料				

科目名 (英)	インタープリテーション I ()	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	鈴木則文
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	自然体験のアクティビティを提供するNPO法人森の学校を運営						
授業の学習内容	インタープリテーション手法の習得とデジタルメディアの活用法の理解。学生はインタープリテーションに関する理論と実践の両方を学び、効果的なプレゼンテーションスキルを向上させることができます。						
到達目標	効果的なインタープリテーション実践能力の向上。						
評価方法と基準	プレゼンテーションの内容と質による総合的な評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義と演習	インタープリテーションの基礎理論	
2	/	講義と演習	コミュニケーションスキルとデジタルツールの活用	
3	/	講義と演習	フィールドワークの計画と実施	
4	/	講義と演習	自然と文化の相互関係	
5	/	講義と演習	持続可能な未来へのアプローチ	
6	/	講義と演習	環境問題とSDGsの理解	
7	/	講義と演習	地球規模の課題とその影響	
8	/	講義と演習	地域の課題とインタープリテーションの役割	
9	/	講義と演習	生物多様性と生態系の保護	
10	/	講義と演習	最新情報の取り込みと活用	
11	/	講義と演習	グループプロジェクトと実践的な活動	
12	/	講義と演習	持続可能な未来への展望と行動計画	
13	/	講義と演習	様々なフィールドで実践1	
14	/	講義と演習	様々なフィールドで実践2	
15	/	講義と演習	環境への配慮と安全対策	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	インタープリテーションⅡ ()	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	鈴木則文
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	自然体験のアクティビティを提供するNPO法人森の学校を運営						
授業の学習内容	インタープリテーション手法の習得とデジタルメディアの活用法の理解。学生はインタープリテーションに関する理論と実践の両方を学び、効果的なプレゼンテーションスキルを向上させることができます。						
到達目標	効果的なインタープリテーション実践能力の向上。						
評価方法と基準	プレゼンテーションの内容と質による総合的な評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義と演習	インタープリテーションの基礎理論	
2	/	講義と演習	コミュニケーションスキルとデジタルツールの活用	
3	/	講義と演習	フィールドワークの計画と実施	
4	/	講義と演習	自然と文化の相互関係	
5	/	講義と演習	持続可能な未来へのアプローチ	
6	/	講義と演習	環境問題とSDGsの理解	
7	/	講義と演習	地球規模の課題とその影響	
8	/	講義と演習	地域の課題とインタープリテーションの役割	
9	/	講義と演習	生物多様性と生態系の保護	
10	/	講義と演習	最新情報の取り込みと活用	
11	/	講義と演習	グループプロジェクトと実践的な活動	
12	/	講義と演習	持続可能な未来への展望と行動計画	
13	/	講義と演習	様々なフィールドで実践1	
14	/	講義と演習	様々なフィールドで実践2	
15	/	講義と演習	環境への配慮と安全対策	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	経営学Ⅲ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	この授業シラバスでは、学生たちがさまざまな領域での知識とスキルを習得し、昆虫ショップ経営において成功するための準備を行います。実践的な演習を重視しながら、現実のビジネス環境に即した課題に取り組むことで、より実践力のある経営者やマネージャーの育成を目指しています。						
到達目標	経営学の授業は、学生たちが授業を通じて成長し、将来の昆虫ショップ経営者やリーダーとして成功するための基盤を築くことを目指しています。さまざまなテーマにわたる実践的な演習とリアルなビジネスシミュレーションを通じて、学生たちが実際のビジネス環境に対応するスキルを身につけることができます。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	昆虫ショップのリテールデザインと顧客体験	講義内容の予習・復習
2	/	講義	昆虫ショップの実技実習:競合他社の分析と戦略	講義内容の予習・復習
3	/	講義	昆虫ショップの輸送・物流管理とサプライチェーン	講義内容の予習・復習
4	/	講義	昆虫ショップの実技実習:マーケットリサーチとデータ分析	講義内容の予習・復習
5	/	講義	昆虫ショップの組織変革とチェンジマネジメント	演習内容の予習・復習
6	/	講義	昆虫ショップの実技実習:ビジネスプレゼンテーション技術	講義内容の予習・復習
7	/	講義	昆虫ショップのデジタルマーケティング戦略の最新動向	講義内容の予習・復習
8	/	講義	昆虫ショップの実技実習:経営戦略のシミュレーション演習	演習内容の予習・復習
9	/	講義	昆虫ショップのフランチャイズ経営と契約交渉	演習内容の予習・復習
10	/	講義	昆虫ショップの実技実習:問題解決と決断力の養成	演習内容の予習・復習
11	/	講義	昆虫ショップのビジネスエシックスとコンプライアンス	演習内容の予習・復習
12	/	講義	昆虫ショップの実技実習:データドリブンな意思決定	演習内容の予習・復習
13	/	講義	昆虫ショップの実技実習:チームビルディングとリーダーシップ	演習内容の予習・復習
14	/	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	/	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	昆虫学Ⅲ (Principles of Entomology III)	必修 選択	必須	年次	3	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	昆虫に関する分類学、生理学、解剖学、歴史学などの幅広い分野の学問の基礎を学ぶ。さらに昆虫ブリーダーとして、それぞれが飼育・販売業界でどのような関連性があるか、活用可能であるかをケーススタディ等を用いて理解する。						
到達目標	昆虫に関する幅広い分野の学問の重要性を理解し、昆虫ブリーダーとしてそれらの知識を活用する事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	学科説明	授業内容の予習と復習
2	/	講義	販売知識基礎を理解することができる①	授業内容の予習と復習
3	/	講義	販売知識基礎を理解することができる②	授業内容の予習と復習
4	/	講義	撮影基礎(ホワイトバック)を理解することができる。	授業内容の予習と復習
5	/	講義	撮影基礎(編集ソフト)を理解することができる。	授業内容の予習と復習
6	/	講義	台原森林公園 撮影会	授業内容の予習と復習
7	/	講義	写真討論会	授業内容の予習と復習
8	/	講義	昆虫学と倫理	授業内容の予習と復習
9	/	講義	虫供養	授業内容の予習と復習
10	/	講義	採集に関する応用知識を理解することができる。	授業内容の予習と復習
11	/	講義	奥新川採集	授業内容の予習と復習
12	/	講義	奥新川採集品ソーティング	授業内容の予習と復習
13	/	講義	進級作成指導	授業内容の予習と復習
14	/	講義	レポート作成①	授業内容の予習と復習
15	/	試験	試験	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英)	昆虫ブリーディングⅢ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	インセクトブリーダーを理解し、適切な生体管理・ブリーディングができるために必要な技術・知識を学ぶ						
到達目標	基本的な知識、技術を習得し、インセクトブリーダーとして適切な昆虫の管理・ブリーディングを行えるようになることを目標とする						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
2	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
3	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
4	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
5	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
6	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
7	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	講義内容の予習・復習
8	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
9	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
10	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
11	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
12	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
13	/	講義・演習	ペアリングができる。幼虫の管理方法を理解できる。 産卵セットの割り出しと状況確認ができる。	演習内容の予習・復習
14	/	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	/	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	昆虫採集Ⅲ ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3年	担当教員	大原
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	2015年 株式会社 Beetle on設立。2021年 Beetle on仙台店(2号店)開業。現在に至る。						
授業の学習内 容	昆虫採集の基本知識として、採集器具の使用と選定、採集の手法と技術、標本の作成と保存方法を学ぶ。実際にフィールドに出て、採集器具の使い方の実践、標本作成と保存演習、昆虫保護活動への参加をする。						
到達目標	カブトムシとクワガタについての基本的な生態と分布について理解する。 昆虫採集に使用する器具の選定と使い方を知り、実際に使用できる。 フィールドワークと実技実習を通じて、カブトムシとクワガタの採集技術を習得する。 採集した昆虫を標本化する手順を理解し、標本の作成と保存を実践できる。 昆虫の生態系に関する理解を深め、昆虫保護活動の意義と方法を理解する。 環境への配慮と倫理観を持ちながら、昆虫採集を楽しむことができる。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
2	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
3	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
4	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
5	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
6	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
7	/	講義・演習	昆虫採集	講義内容の予習・復習
8	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
9	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
10	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
11	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
12	/	講義・演習	昆虫採集	演習内容の予習・復習
13	/	講義・演習	昆虫採集における観察とデータ収集	演習内容の予習・復習
14	/	試験	試験	試験範囲の予習・復習
15	/	講義	振り返り	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	標本制作Ⅲ (Specimen Curation III)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	3	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	カブトムシ、クワガタなどをはじめとする様々な昆虫の標本作成技術、またそれらを管理・保管するための方法を勉強する。標本販売に携わる知識の他にも、学術的な用途で使用される標本の取り扱い方についても理解する。						
到達目標	様々な昆虫の殺虫処理から展足、完成標本の管理といった一連の工程を理解し、自ら実践可能にする。標本作成と標本管理の重要性を理解し、その学術的な価値を正しく認識出来るようになる。						
評価方法と基準	実技試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
2	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
3	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
4	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
5	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
6	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
7	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
8	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
9	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
10	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
11	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
12	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
13	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
14	／	講義・演習	標本作成の基礎・応用を学ぶことができる。	授業内容の予習と復習
15	／	試験	試験	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英)	アカデミックライティングⅡ (Academic Writing I)	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	3	担当教員	小林一秀
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	2020年に英国にて学士取得(動物学)。甲虫標本専門店標本商花滝代表。主な研究テーマはコガネムシ上科の分類。						
授業の学習内容	生体、標本問わず昆虫を扱う上で重要な学術的論文・レポートの書き方や読み方について学習する。						
到達目標	学術的な論文なレポートの基本的な構成とその応用に関して理解することができる。						
評価方法と基準	筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる①	授業内容の予習と復習
2	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる②	授業内容の予習と復習
3	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる③	授業内容の予習と復習
4	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる④	授業内容の予習と復習
5	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑤	授業内容の予習と復習
6	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑥	授業内容の予習と復習
7	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑦	授業内容の予習と復習
8	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑧	授業内容の予習と復習
9	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑨	授業内容の予習と復習
10	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑩	授業内容の予習と復習
11	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑪	授業内容の予習と復習
12	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑫	授業内容の予習と復習
13	/	講義	アカデミックライティング応用について学ぶことができる⑬	授業内容の予習と復習
14	/	講義	レポート作成	授業内容の予習と復習
15	/	試験	1st formative 提出	授業内容の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業中に授業用プリントを配布				

科目名 (英)	卒業研究 ()	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	3	担当教員	坂本
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6	開講区分	前期
教員の略歴	専門学校卒業後、実験動物飼育管理、移動動物園、2005年TCA入職、2008年SCA移動						
授業の学習内容	グループ毎にテーマを設定し、自主的に調査、研究を積み重ね、卒業制作展(1月下旬予定のWe are ECO)を目標として論文やパネルの作成、口頭発表の準備を行う。						
到達目標	動物園や水族館などでは、日々の飼育業務だけでなく、希少な動物の保護及び繁殖、飼育環境の改善のために、生態や行動をよく観察し、飼育方法や繁殖方法の確立、より良い飼育環境作りを目指すことも大切な仕事となっており、その重要性は年々高まっている。その基礎となるのが「研究」という視点と思考であり、自分で調べて考えた事柄を客観的に他者に伝わる形にまとめ上げ、プレゼンテーションする力を身に付ける。そして、1月下旬のWe are ECOで発表し、2月上旬のJESC奨励賞推薦作品になることを目指す。						
評価方法と基準	出席20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、抄録とプレゼンテーションのクオリティ)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	卒業研究についてのガイダンス、テーマ募集、グループ分けも検討	卒業研究テーマ、内容、グループを次回まで決める
2	/	講義	卒業研究のテーマとグループ分け決定、グループ毎での進め方を話し合う	卒業研究テーマについて文献等の調査
3	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
4	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
5	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
6	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
7	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
8	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
9	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
10	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
11	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
12	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
13	/	実習	グループ作業(調査、観察など)	実習内容を記録しまとめる
14	/	講義	中間発表 経過報告	
15	/	講義	前期のまとめ	卒業研究の進行状況を振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	アウトドアライフⅡ ()	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	鈴木則文
学科・専攻	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	()	開講区分	
教員の略歴	自然体験のアクティビティを提供するNPO法人森の学校を運営						
授業の学習内容	アウトドアでの生活や活動に必要な基本的なスキルと知識を学びます。山岳地帯や野外での生活を楽しみながら、安全かつ快適なアウトドアライフを実現するための準備を行います。						
到達目標	アウトドアでの基本的な生活技術と安全意識を身につける 自然環境を楽しむための準備や装備の選定方法を習得する 緊急事態に備えて、レスキューとファーストエイドの基本的な知識と技術を獲得する						
評価方法と基準	実技やグループワーク、プレゼンテーションなどの総合的な成果物や活動姿勢を考慮して行います。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	山歩きの基本姿勢と歩行技術の紹介	
2	/	演習	山道や急斜面での歩き方の練習	
3	/	演習	地図の基本要素と読み方の解説	
4	/	演習	コンパスの使い方と方位の把握方法	
5	/	演習	アウトドアでの適切な服装の重要性	
6	/	演習	アウトドアでの必須道具の選び方と使い方	
7	/	演習	ロープワークと基本的な結び方の練習	
8	/	演習	テントの設営と撤収の手順	
9	/	演習	火の扱いと安全な焚火の方法	
10	/	演習	野外炊事の基本と食材の選び方	
11	/	演習	野外での食事の準備と調理方法	
12	/	演習	自然との原体験を通じて環境の尊重と理解を深める	
13	/	演習	レスキューとファーストエイドの基本技術の習得	
14	/	演習	緊急事態に備えた対処法の実践とシミュレーション	
15	/	演習	環境への配慮と安全対策	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	業界研修Ⅱ ()		必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	3	担当教員	浅岡
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制 インセクトブリーダー・昆虫専攻		授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	環境系NPO法人で耕作放棄地の利活用、環境再生活動、自然教育活動およびその指導に携わる							
授業の学習内容	校外学習を通して水生生物の生態や生物を取り巻く環境について学ぶ。 野外活動での危険性を知り、自然環境中を含む屋外での安全を意識したイベントを実行できる人材を目指す。 関係する業界が取り組む現状とその将来を、自然体験活動を通して、消費者の観点から考える。							
到達目標	野外活動での危険把握、安全管理の必要性を理解し、安全確保の上で活動することができるようになる。 水辺での種体験活動を通して、水生生物の解説ができるようになる。 (こども向けイベント等でやさしい言葉で水生生物の解説ができるようになること) 自然体験活動の実践を通して、自然体験活動の将来について考え、提案できるようになる。							
評価方法と基準	筆記試験 ← 100段階で判定する 取組状況 ← 毎回の演習への取り組み状況を2段階で判定する 提出物 ← 提出物を4項目(提出期日、正確さ、自律学習度、IT使用)で判定する 筆記試験で50%、取組状況と提出物を合わせて50%、計100%とした点数が評価点となる							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義	野外での安全管理・危険について説明できる	身近な危険、野外での危険について議論する
2	5/11	演習	がさがさを通して自然体験活動について説明できる	ワークシート
3	5/11	演習	微小生物を含む小型水生生物の説明ができる	ワークシート
4	5/11	課題	観察・採捕・調査についての課題	ワークシート
5	6/4	演習	特定外来生物に関わる業界について説明できる	ワークシート
6	6/4	演習	特定外来生物(水圏生物)について説明できる	ワークシート
7	6/4	課題	特定外来生物の駆除法について説明できる	ワークシート
8	6/15	演習	水生昆虫に関わる業界について説明できる	ワークシート
9	6/15	演習	ホタルの保護、養殖法について説明できる	ワークシート
10	6/15	課題	水生昆虫・昆虫観察・夜間活動についての課題	ワークシート
11	7/13	演習	採捕(釣り)に関わる業界について説明できる	ワークシート
12	7/13	演習	水生生物の採捕法について説明できる	ワークシート
13	7/13	課題	採捕(釣り)道具・採捕法・水生生物についての課題	ワークシート
14	9/7	試験	筆記試験	前期学習内容についてワークシートを復習しておく
15	9/14	講義	振り返り	試験で間違えた項目について復習をする
準備学習 時間外学習			授業内で使用するワークシートのノートへの転記がよい。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
演習時に必要なもの → 用箋バサミ、フィールドノート、フィールドブーツ、フィールドハット、ユニフォーム、タオル、雨具、カメラ、デジタル水温計、釣り具一式				